

学校保健

平成16年9月1日

No. 253

JAPANESE SOCIETY OF SCHOOL HEALTH

(財)日本学校保健会ホームページアドレス
<http://www.hokenkai.or.jp/>

(財)日本学校保健会

平成16年度全国養護教諭研究大会

全國養護教諭聯絡協議會

「養護教諭の専門性を生かした支援の在り方」

—子どもたちが生涯を通じて心豊かに健康で生きるために—

広大な北海道の地での開催、会場となった「札幌コンベンションセンター」も驚くほどの広さで、施設設備に恵まれ、全体会から分科会まで会場を移さずに開催された。参加者は、道外から700人ほど、全体でおよそ1,200人規模であった。

記念講演は国内最北端の旭川市旭山動物園園長 小菅正夫氏の「動物園は雪の中」小菅氏は、園長に就任してから、「面白くなければ動物園ではない」をモットーに、動物を如何に生き生きとさせるかということに取り組み、遂に上野動物園の入場者を超える来園者数を記録し、一躍注目の人となっている。映像による動物のユニークな行動展示の紹介をはじめ、やりたいことをたくさんつくって動物自身に選ばせること、つまり、意志決定と行動選択の自由を与えていてことや、オランウータンも笑うことを紹介。そのなかで笑顔は伝染して周りをなごませること、また遊びは心を解放するのでとても大事であること、動物にとって幸せなことはやることがあるということなどを指摘された。これらは人間にとっても共通することでもあり、感銘深い、全国大会にふさわしい講演であった。



健康教育調査官の采女智津江氏の基調講演は「子どもたちの健康課題に向けた養護教諭への期待」と題し、子どもたちの現状と課題から養護教諭への期待が一層高まっていること、ヘルスプロモーションの理念を生かした健康教育を推進していくことが、強く求められていることについて述べられ、絶えず学ぶ姿勢と子どもたちのために養護教諭として何ができるかという観点に立った支援を期待していると、印象強く結ばれた。

シンポジウムは、「豊かな人格を育むための学校」とい

「性教育の考え方、進め方」のテーマで、文部科学省の体育官戸田芳雄氏がコーディネーター。4人のシンポジスト（養護教諭、産婦人科医、校長、大学助教授）からはそれぞれの立場から熱心な発表があり、本来の基本的な目標や内容について再確認する貴重な機会となった。

2日目は、5部会、6分科会が9会場に別れて、それぞれ熱心に発表と研究協議が展開された。主な研究協議題は次の通りであり、今後に向けての課題等の共通理解が図られた。

- 健康の現代的課題への対応を図るための保健室経営の在り方
 - 養護教諭の専門性を生かした子どもたちの健康課題への対応の在り方
 - 養護教諭の保健教育への具体的な支援や参画の在り方
 - 現代的課題に対応した保健管理の進め方
 - 養護教諭の専門性や保健室の機能を生かした健康相談活動の進め方
来年度24回目になる大会は8月4・5日の2日間、奈良市で開催される。

目 次

平成16年度全国養護教諭研究大会	…1
各ブロック大会等の報告	…2-6
各地の活動ちょっと拝見⑨	
みやぎ21 佐沼高 健康プラン	…7-8
静岡県学校保健会 新聞コンクール	…9
Q&A 学校保健委員会の設置率	…10
詳解「学校環境衛生の基準」	…11
「楽団あぶあぶあ」の東京公演について	…11
たばこの規制に関する枠組み条約について	…12
事務局便り	…13
幹旋販売商品のご案内	…13-14
平成16年度「学校保健用品・図書等推薦」一覧表	…15
虎ノ門	…15
会報をよくするため、読者のご意見を求めています。FAXでお寄せください。	

会報をよくするため、読者のご意見を求めていきます。FAXでお寄せください。

各ブロック大会等の報告

「心豊かにたくましく生きぬく子どもを育む、学校保健の推進」 第55回十三大都市学校保健協議会 実行委員会広報部

平成16年6月20日(日)、標記協議会札幌大会が札幌コンベンションセンターを会場とし、約800名の学校保健関係者を集めて開催された。

この協議会は「生涯を通じて、豊かな心を持ち、たくましく生きる児童生徒を育成するため、十三の政令指定都市の学校保健関係者が当面する健康・安全の諸問題を研究協議し、学校保健の進展を図る」ことを趣旨として、毎年参加都市の持ち回りで開催しているものである。



午前9時30分から大ホールに於いて、日本学校保健会などからの来賓を迎える開会式が執り行われ、続いて行われた全体協議では前回開催都市の福岡市からの事後処理報告、次期開催都市の決定などが提案通り了承された。

その後、記念講演として、医学博士で落語家の立川らく朝 師匠に「ヘルシートーク」と「健康落語」で講演をいただき、生活習慣病などについて分かりやすくためになるお話を、面白く聞くことができた。「笑うことが健康の秘訣」と言われる通り、約1時間半の間、参加者からの笑い声が絶えなかった。

続く記念事業では、世界でも前例のない小学生を対象とする音楽スクール「札幌・ジュニア・ジャズスクール」の生徒たちによる楽団「SJF JUNIOR JAZZ ORCHESTRA 2004」が“Cantaloupe Island”など7曲を演奏し、協議会の開催を盛り立てた。

午後からは「健康教育」、「健康管理」、「心の健康」、「地域保健」の4つの分科会に分かれて課題別協議会が行われた。それぞれの分科会では、各都市の代表による7つの口頭及び紙上提言があり、この提言を受けて参加者により大変活発な意見交換が行われた。

今回の協議会では、心の教育に焦点を当て、学校・家庭・地域が一体となり、どのように「生きる力（ヘルスプロモーション）」を支援し、健康教育として取り組むのかという提言や意見がどの分科会においても多く見られ、今後より一層の重要性と継続した教育の必要性が明らかになった。

以上のように、一日を通して盛会となった本協議会は、次期開催都市の仙台市に引き継がれることとなるが、今後益々の発展を祈念すると共に、本協議会を開催するにあたりご協力いただいた方々、参加していただいた方々に、この場を借りてお礼申し上げたい。

札幌市学校保健会は、札幌市教育委員会の支援を受け、三師会をはじめ14の団体で構成されており、年間を通して研究活動を続けている教育団体である。当会では、本協議会を見据えて平成14年度より3カ年計画で準備を進め、1年目は課題等の整理として「見通す」、2年目は研究内容を深めるとして「深める」、そして3年目（本協議会）は、他都市との研究成果の交流として「ひびきあう」をスローガンとして毎年研究大会を開催してきた。昨年の研究大会には200名を超す参加があり、健康教育についての関心の高さを物語っていた。

今回の協議会では、新たな試みとして速報の発行（2号）、感想用紙の配布と集約を行った。速報は昼食時と閉会式後に配布させてもらったが、多くの方々に目を通していただき、大変評判が良かった。このようなことが出来たのも札幌市学校保健会が、研究団体として成り立っているからであろう。

最後に、参加者から寄せられた感想の一つを紹介する。

「今回この大会に初めて参加し、養護教諭に求められているものが多方面にわたっていることが分かりました。中でも心の健康分科会では、子どもの成長や発達に、養護教諭は欠かせない大きな存在であることを再認識させられました。（中略）いろいろな視点から学校保健について考える機会を与えていただき、ありがとうございました。」

第26回 近畿学校保健連絡協議会 滋賀県学校保健会

平成16年7月15日(木)、近畿2府4県3政令指定都市の学校保健関係者約120名が大津プリンスホテルに集い、第26回近畿学校保健連絡協議会(日本学校保健会近畿ブロック連絡協議会)が開催された。当日、滋賀県学校保健会の小西眞会長、財団法人日本学校保健会の若林明副会長の開会挨拶、滋賀県教育委員会事務局の末松史彦教育次長の歓迎挨拶をいただき、その後、小西会長と奈良県学校保健会の有山雄基会長の進行により研究協議をはじめた。

まず、各府県市の学校保健会ならびに学校保健連合会からの要望事項について、提案理由を含めて説明していただいた。今回、説明いただいた要望事項の一部を下記に紹介する。

【要望事項】

- ①心の健康問題をはじめとして、複雑多様化する健康課題が増加している現状を考慮して、現行の配置基準を見直し、学校規模に関わらず子どもたちの実態に応じた複数配置すること。
- ②学校保健の中心的な役割を担う保健主事が、その職務を十分に果たすことができる体制整備(複数年担当の啓発等)と意欲を持って活動が進められるように地位の向上を図ること。
- ③心の健康問題が多様化する中、特別な関わりを必要とする子どもたちへの専門的な支援が受けられる小児専門の精神科の設置など、体制整備を図ること。
- ④「学校環境衛生の基準」の改訂により、新たに検査項目が追加されたが、検査費用が多額となるため、一定の財源援助を行うこと。
- ⑤性(エイズ)教育の在り方については、教職員や保護者の認識や必要性等についての差が大きく、学校において意思統一等が難しい状況にある中で、文部科学省による発達段階に応じた指導内容や方法等について、具体的に標記された指導書等を発刊すること。

続いて、各府県市から研究課題について説明していただいた主な課題を下記に紹介する。



【研究課題】

- ①健康教育の一層の推進
- ②学校保健委員会の充実と活性化
- ③心の健康に関する相談体制の充実

研究課題は前年同様の内容が提案され、参加者は13グループに分かれ、約40分間、上記の内容を踏まえ、情報交換や研究協議を行い、協議の結果を各グループごとに発表していただいた。各グループでの協議内容はそれぞれで決めていただいた。その内容は、「喫煙防止教育」、「保健室の在り方」、「保健主事について」がほとんどであり、学校がかかえる今日的な課題がクローズアップされた。

最後に、次期開催県である奈良県学校保健会の大手信重副会長と滋賀県学校保健会の藤居正博副会長から閉会挨拶をいただいた。

本協議会の開催に当たり、御尽力・御協力を賜りました関係者の皆さんに厚くお礼申し上げるとともに、本協議会のますますの発展を御祈念申し上げ報告とします。

第50回 中国地区学校保健研究協議大会 広島県学校保健会

平成16年8月19日(木)・20日(金)の2日間にわたり、標記研究協議大会が、広島県広島市広島県民文化センターとメルパルク広島で開催された。第50回という節目を迎えた今回は、中国各県から約700人の参加を得て、「生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進」の大会主題のもと、初日は全体会と職域部会を、2日目は班別研究協議会を行った。

大会初日の全体会では、広島県出身で、現在は東京都内でがん治療の専門家として、週刊誌等への連載、テレビやラジオへの出演など多方面で活躍中の外科医平岩



正樹先生から「癌になる人、ならない人、それから—癌から身を守る方法—」と題した特別講演をいただいた。

がんについての医学的な知識だけでなく、がん治療に対する先生御自身の強い思いや、目標を持ち明るく豊かに生きることの大切さなどを具体的な症例を含めながら熱心に話された。

当初予定していた会場だけに収まらず、急きょ用意したモニター室もいっぱいになり、参加者からは、「先進的な治療に取り組まれている専門家ならではの視点で、がんについてユーモアを交えながらとても分かりやすく話していただいた。」と大変好評であった。

職域部会では、学校薬剤師部会、校長・園長部会、学校保健・学校安全担当教員部会及び養護教員部会の4つの会場に分かれ、それぞれの主題に基づいたシンポジウムや講演などが行われた。各会場で活発な論議が交わされ、特に養護教員部会では所定の時間後にも自由参加によるミニ講演会を開催するなど充実した内容であった。

大会2日目は、班別研究協議会として参加者が7班に分かれて、次の6つの研究協議題についての研究発表と意見交換を行い、指導助言者からは今後の学校における健康教育の充実に向けての適切な示唆をいただいた。

1、2班研究協議題

「生涯にわたりたくましく生きる力を育む保健安全教育」

3班研究協議題

「豊かな人間性を育む性教育・エイズ教育」

4班研究協議題

「快適な学習環境つくりをめざす学校環境衛生活動」

5班研究協議題

「歯と口の健康つくりめざす学校歯科保健活動」

6班研究協議題

「豊かな人間性や社会性を育み、心の健康つくりをめざす教育活動」

7班研究協議題

「子どもの健康を守り育てる薬物乱用防止教育」

最後に、本研究協議大会の開催に当たり、御指導・御協力をいただいた皆様方に心から感謝と御礼を申し上げ、報告とする。

第4回 九州地区健康教育研究大会

福岡県実行委員会



昨年の大分県での開催に続き、今年は8月9・10日、福岡サンパレスホールを中心に、九州各県から多数の健康教育に携わる関係者の参加の下、「生涯にわたって、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進」を主題として、シンポジウムや12の分科会を実施し、研究協議を行った。

第1日目（開会式）

開会式では、竹嶋大会会長の「健康教育の推進のためにには健康教育関係者の専門性を發揮するとともに、連携した指導の体制づくりが重要」というあいさつに続き、財団法人日本学校保健会の内藤専務理事が「子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、子どもたちの健康に多くの問題が顕在化してきており、その解決が重要な課題となっている。大会の成果を今後の学校保健活動の実践に生かしてほしい。」との矢野会長からのメッセージを代読された。

シ ン ポ ジ ウ ム

○テーマ「生涯にわたって、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進」

○コーディネーター

大野城まどかピア男女平等推進センター
所 長 林田スマ

○シンポジスト

宮崎県立看護大学	教 授	伊藤一彦
佐賀大学	教 授	新富康央
長崎大学	教 授	田原靖昭
福岡県立大学	教 授	松浦賢長

開会式直後のシンポジウムでは、これから健康教育のあり方について、4名のシンポジストによる提言をもとに、どのような取り組みが有効なのか等の協議が行われた。

参加者からは、健康教育に関わる各界の専門家が一つのテーマに基づいて議論するという形式には今までにない新鮮さを感じた等の感想が聞かれた。

特 別 講 演

- 演 題 「気力を支えるもの」
- 講 師 漫画家・アニメーション作家 松本零士氏
昔は生きるために食べていた等、自身の幼いときの体験談や今の恵まれた時代の食べ方についての問いかげなど充実した講演であった。
参加者からは「体力が気力を支え、気力が夢を支える。食べることが命を支え、気力を支える。」という言葉が印象的だったとの感想が寄せられた。

第2日目（分科会）

午前・午後と合計12の分科会を開き、それぞれの分科会ごとに実践発表と研究協議を行った。

- | | |
|--------|--------------|
| 第1分科会 | 健康相談活動（小学校） |
| 第2分科会 | 健康相談活動（中、高校） |
| 第3分科会 | 保健室経営 |
| 第4分科会 | 衛生管理 |
| 第5分科会 | 児童生徒の活動への支援 |
| 第6分科会 | 学校保健経営 |
| 第7分科会 | 性教育 |
| 第8分科会 | 薬物乱用防止教育 |
| 第9分科会 | 食に関する指導 |
| 第10分科会 | 心の健康教育 |
| 第11分科会 | 生活習慣病の予防 |
| 第12分科会 | 安全管理・安全教育 |

各分科会とともに、その分野の第一線で活躍されている先生方を指導助言者としてお招きしていたので、発表内容もふまえた助言を得ることができ、参加者から好評を得た。

本大会の開催に当たり御支援と御協力をいただいた皆様に心から感謝申し上げ報告とします。



したが、その予想をくつがえす600人もの参加があり、この件については杞憂に終わった。

まず、大会初日は功労者表彰として、全国学校保健主事会、前会長鈴木守雄先生をはじめ5名の先生方のご功績を表彰した。

開会セレモニーのあと、基調講話では「学校保健の現状と保健主事の役割」と題して、文部科学省スポーツ・青少年局体育官、戸田芳雄先生に講話をいただいた。

子ども自身がこの先たくましく生きていくためにはどうしたらよいか。そして我々はどのような関わり方をしたらよいかなど、具体的に示された。私自身も含め参加者一同は、今後とも熱意と使命感を持ち学校現場で行動することが肝要である、ということを再認識出来た。

引き続いての記念講演では、松山市出身の料理家、平野寿将氏の「マンマの味から見習うこと」と題して、大変歎切れる良い講演を聴くことができた。氏の高校時代やんちゃだった話や、負債を抱えたが自分自身の哲学で乗り越えた話など、実体験が中心だったので、時間を忘れて聴き入ってしまった。何はともあれ、どんな時代でも強く生き抜いていくためには物事の本筋を見抜く力、自分自身をいち早く知ることが必要だ、との結論であった。大変説得力がある話に、とても勉強になったし、何かやる気をもらった気持ちになった。

大会2日目は、研究発表及び課題別研究協議会が行われた。今年度の研究発表は、

- 1 学校保健委員会に関すること。
 - 2 エイズ教育（性教育）に関すること。
 - 3 心の健康の保持増進をめざす教育活動に関すること。
- の三つのテーマでした。大変熱気のこもった発表となった。

その後での課題別研究協議会は分科会となり各会場にわかつて実施された。どの会場も大変熱心に協議され、参考になる意見が多くかった。得るところの多かった分科会であった、との参加者の感想に主催者の一員として、大変うれしい限りであった。

最後に、今回の愛媛大会は近年になく盛り上がりと、充実した実り多き大会であった。これはすべて愛媛県の大会運営委員の先生方をはじめ、県内の先生方の組織力にほかならないと感じた。大変感銘を受けた愛媛大会に「ありがとうございました」の一言を添えて結びとしたい。

第47回 全国学校保健主事研究協議会愛媛大会を終えて 「自ら守り育てる心とからだ」

全国学校保健主事会
会長 小嶋 保廣

学校保健活動に携わる多くの方々からのご支援、ご協力をいただき第47回学校保健主事研究協議会が「道後温泉」でおなじみの愛媛県松山市で開催された。期間は平成16年8月19日・20日の2日間の日程で、全国各地から保健主事や養護教諭、その他学校保健関係者が集まり研究発表、課題別研究協議会が行われた。

当日は、台風の上陸と重なり、参加者の足の心配を

生涯を通じ、豊かな心をもち心身ともに健やかな子どもの育成

第55回関東甲信越静学校保健大会
静岡県学校保健会事務局



平成16年8月16日(木)、関東甲信越静の学校保健関係者約1000名が一堂に会して、第55回関東甲信越静学校保健大会が、静岡県コンベンションセンター(愛称・グラニシップ)で開催されました。

午前中の全体会では、開会行事の後、特別講演があり、東京女子大学理事尾木和英氏から「心身ともに健やかな子どもを育てる」—不登校の解決を目指す学校づくりとはーと題した講演をいただいた。

講演の要旨は、以下のとおりである。

1 幼児・児童・生徒にとって魅力ある学校とは

- ①心の居場所づくり、絆づくりを重視する学校
- ②生きる力としての確かな学力を一人一人に育む学校。その中でも一人一人の夢を育むことができる学校。
- ③心身ともに健やかな子どもを育てることができる学校。学校づくりとか学校教育目標に対してどう位置づけるか。学校経営の視点でどう捉えていくか。本県の「こころざし」を持った子どもの育成は、現在極めて重要だと思う。

2 最近の幼児・児童・生徒の抱える問題とは

- ①攻撃性…日常生活の中で自分の行動に充足する経験が欠落している。それには肯定的な自己概念を明確分で探っていく。
- ②孤立性…意味ある他者をもっていない。いかに教育活動の中で、意味ある他者を発見させてあげられるができるか。
- ③浮遊性…ある行動を通して、自分が価値を獲得する機会が少なくなっている。様々な教育活動、人との関わりを通して、価値を学ぶことが必要である。

3 「心の居場所」「絆づくり」の重要性

「心の居場所」

- ①いかに人間関係や学習集団をつくっていくのか。
- ②活動を通して充実感が得られるか。自尊感情を重視したい。

③安定して安心して生活できる場所

「絆づくり」

- ①心の触れ合い、認め合い、助け合う。学校教育の中で位置づける。
- ②共に価値が実感できるような活動。関わりの中で価値が獲得できる活動。
- 絆づくりの先にあるのが、社会性、自己実現である。

4 魅力ある学校づくりにおける健康教育の意義

- ・不登校への対応—早期発見と早期の適切な対応—一人一人の立場にたって共感的な理解、全人的な理解にたって適切な対応をする。そういう学校体制をつくることが重要。
- ・ネットワークづくり一人一人の子どもの心と体の問題が生じた場合、そこに効果的な支援ができるように学習指導要領の総則編、体育健康に関する指導の中に先生方の重要な仕事が位置づけられている。このことを根底に学校づくりを進める。
- ・カリキュラムの開発

5 いま学校教育に求められているものとは

- ①健康教育と学校保健活動と心に関する健康づくりを学校教育全体の視野の中に収める。
- ②危機管理と安全管理を徹底していく、地域・家庭の信頼関係に基づいた連携体制をつくる。
- 信頼関係を築くには、学校が説明責任を果たしていくかである。
- ③組織マネジメント。全職員がそれぞれの持ち場で力を發揮し、それぞれの取り組み、貴重な実践が生きてくる体制。

午後は、5班に分かれて、班別協議会を行った。各班ごと2題の研究発表を行い、その後、研究協議を行った。

1班 研究協議課題

「教育目標具現化を目指す学校保健」

2班 研究協議課題

「豊かな心と健康な生活を実践する力を育む健康教育」

3班 研究協議課題

「正しい判断力を培うエイズ教育」(性教育)及び「薬物乱用防止教育」

4班 研究協議課題

「歯・口の健康づくりを目指す学校歯科保健活動」

5班 研究協議課題

「快適で安全な学校環境づくりと実践力を高める安全教育」

参加者からは、①実践に基づいた具体的な発表でこれから教育実践に大変勉強になった。②助言者からは、これから健康教育推進のために適切な示唆をいただいた等の感想が聞かれた。

本大会の開催に当たり、御支援・御協力をいただいた関係の皆様に心から感謝申し上げ、報告とします。

各地の活動ちょっと拝見⑨

◆宮城県学校保健会 「みやぎ21 佐沼高 健康プラン」

宮城県佐沼高等学校 養護教諭 白鳥 美佐子

I はじめに

国は、少子・高齢化社会を健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を実現するために「健康日本21」プランを掲げ、疾病を予防する「一次予防」を重視した健康づくり運動をスタートさせた。

宮城県でも「みやぎ21健康プラン」として3つの基本方針〔1「健康寿命」の延伸、2 生活の質(QOL)の向上、3「一次予防」の重視〕をあげた。

そこで、生活習慣の確立の上でも重要な時期である思春期をとらえた登米保健福祉事務所のモデル推進校として、本校では、「みやぎ21 佐沼高 健康プラン」を立ち上げた。「自分の健康は自分で守り、つくる」という意識を育成する目的のもと、思春期の健康づくりを、登米保健福祉事務所とタイアップした取り組みを行なった。



II 本校の紹介

創立103年を迎えた、普通科20クラスと定時制を併設する、県北の男女共学の伝統校である。ラムサール条約に指定された日本有数の白鳥飛来地である伊豆沼の近くに位置し、四季に眺める栗駒山の姿も美しく自然に恵まれた環境にある。校訓である「献身・窮理・力行」の三徳を至誠をもって貫くの教えを大切にして、21世紀の国際社会をたくましく生き抜くことができる、健全な心身を持った徳性の高い人間の育成という目標のもと、文武両道を旨とする学校である。

また、同窓生には、最近直木賞を受賞された作家熊谷達也氏(29回生)・アニメ作家大友克洋氏(25回生)・石ノ森章太郎氏(8回生)がいる。



III 健康プランー具体的な取り組みー

【平成13年度】高校生の健康意識や生活習慣の実態を把握しよう

項 目	目 的	内 容	対 象
骨密度測定と1日分の食事調査	骨密度測定及び食事調査をすることにより、本人の健康への関心を高め、生活を見直すきっかけとする 	<ul style="list-style-type: none"> 骨密度測定は検診機関に委託 食事調査については、栄養士からの指導助言 骨密度測定の結果で、必要に応じて個別に栄養相談の実施 	女子生徒 150人 (各学年: 50人)
「高校生の健康意識調査」アンケートの実施	「健康日本21」や「すこやか親子21」に基づいて、登米地域の今後の思春期の健康づくりに資するために健康意識や生活状況の実態把握を行う	高校生の健康意識や生活習慣等についてアンケート調査	全校生徒対象 (855名)
保健委員活動による健康づくりへの取組み	自ら「健康」について討議することで、健康づくりの気運を高め自己管理意識を向上させる アンケートの結果、どんな健康問題があるのか調べる	<ul style="list-style-type: none"> 「高校生の生活と健康観」について 「高校生の健康意識調査結果をみてどう思うか」をテーマに各学年毎・男女別にワークショップとグループインタビューを行った 	保健委員 (48名) 登米保健福祉事務所 (3名)

【平成14年度】健康意識調査をもとに健康づくりに取り組んでみよう

項目	目的	内容	対象
骨密度測定と個別栄養指導	追跡調査 	・骨密度測定 ・個別の栄養指導（相談）	昨年度個別指導を実施した 11人 ・女子保健委員 9人
保健委員活動による健康づくりへの取組み	「健康」について考えもらい、健康づくりの気運を高め自己管理意識を向上させる 	・ワークショップ ・文化祭に参加 高校生の意識調査（報告） アルコールのパッチテスト アルコールを飲める体質か 飲めない体質か たばこの害について スモーク人形 パネルの展示 栄養について (定時制の給食,写真の展示等)	保健委員 (44人)
講演会「思春期の性」	命の大切さや性感染症、避妊などについての講演	講師：助産師 石川初枝先生	2学年 (280名) 職員

【平成15年度】健康意識調査をもとに健康意識・生活習慣の実態の変化をみよう

項目	目的	内容	対象
「高校生の健康意識調査」アンケートの実施	平成13年度に実施した同アンケート調査を実施し、比較検討する	健康意識調査の実施	全校生徒 管内高校生 約2,600人

【平成16年度】管内の高校生の意識調査をもとに健康教育について検討・実践

◇平成16年度管内の高校との意識調査の結果では、

以下の点があげられた。

- (1) 自分の健康観…健康だと感じている者は、全体の5割であった。
- (2) 心について(今の生活の満足度)…ストレスを強く感じている者は3割にのぼり、「勉強の成績」「友人関係」が上位をしめた。
- (3) 体型について…やせ指向が顕著で、女子の4割がダイエット経験者であった。
- (4) 食生活について…朝食欠食の習慣化(男子の1割) ビタミン剤などのサプリメントを日常的に摂取の傾向にある。
- (5) 運動・生活について…運動時間は運動部以外は1日30分未満。睡眠時間は4割で6時間未満であった。
- (6) 飲酒・喫煙について…毎日喫煙男子11.7%、女子2.4%、週1回以上の飲酒は男子16%、女子9.4%であった。
- (7) 性について…避妊方法を「まったく知らない」「あまり知らない」は3割だった。性感染症については5割をしめた。

これらをもとに、健康問題について意見交換をしながら、具体的な取り組みについて検討している。

IV 成 果

登米保健福祉事務所（成人・高齢班）とタイアップした健康づくりを推進していく中で、広い視野からの問題点の指摘や情報（資料）は、生徒の健康の自己管理につながりとてもよい機会であった。

また、こうした健康管理・健康教育が校内体制だけでなく、県の行政機関・医療機関等と連携協力した健康づくりに展開できたことは大きな収穫であった。

V 今後の課題

生徒の健康問題は、肥満・ダイエット・アレルギー・視力低下・歯科等多岐にわたっている。また、環境の変化は、ライフスタイルまで多様化（食生活・睡眠・運動・ストレスなど）している。自己管理も難しい状況にあるが、学校で行う検診・検査等を通じて、自分からだに关心をもち、「自分の健康は自分で守り、つくる」意識が育成されていくことを望みたい。

今後もより予防的な取り組みを重視し、学校保健委員会と生徒保健委員会の活性化を図り、そして、地域保健関係者の指導・協力を得ながら、健康教育の充実をめざしたい。

◆静岡県学校保健会 学校保健新聞コンクールについて

静岡県学校保健会 事務局 浦田 政彦

静岡県学校保健会では、昭和48年から、児童・生徒・教職員・保護者の健康に対する関心を高め、学校保健活動の充実を図るために、優れた学校保健新聞(保健だより)を発行した学校を表彰する事業を行っている。

この表彰事業は、昨年度までに実に32回を数え、各学校の保健教育の自主的な取り組みを積極的に推奨しているところである。

本年度も、県下の小・中・高等学校、盲・聾・養護学校及び本会に加入している私立学校に、この1年(昨年12月から今年11月までにB4版で作成したもの)に発行した学校保健新聞(保健だより)の推薦を照会することにしている。

学校における「学校保健だより」は、特に一人一人の児童・生徒の健康に対する認識や意識を高めていくこと、健康教育を主体的に学んでいくこと等、多くのメリットが有る。結果として、生涯の健康観を育てることにつながることからも、健康教育の普及に適切な手法として、それぞれの学校で取り組まれている例が多い。

本県においても、多くの学校で取り組まれているが、この表彰事業には、毎年、小・中・高等学校等から15作品ほどの応募がある。

選考する作品の種類も、児童・生徒の自主性を育成



する観点から、児童・生徒が編集発行した作品と教師の健康教育に対する取り組みを評価する観点から、教師が編集発行した作品に分けて、それぞれ審査し、応募作品の中から、「特選」1点、「入選」3~4点を選び、本会の理事会の席上で、表彰式(賞状と盾を贈呈)を行うこととしている。また、本会の会報誌でも紹介している。

審査には、本会の委嘱した審査委員、3地区の教育事務所の健康教育担当指導主事、県教委健康教育班の班長・指導主事及び本会の事務局長の計9名が審査員となり、平成15年度は、「特選」として、小・中・高等学校それぞれ1校ずつを選考したところである。毎年、質的に高い作品が増え、選考には、かなりの時間を要するようになってきている。

本会としても、学校の熱心な取り組みがよく見えることから、学校保健活動の要の事業として、今後とも継続していきたいと考えている。

ここでは、審査委員から「中学生らしい保健だよりであり、自校の調査結果をもとに、保護者と生徒、教師、双方の交流ができるように作成されている」との、高い評価を受けた周南中学校保健委員会の「特選」となった作品を紹介したい。



Q&A

学校保健委員会の設置率

学校における健康の問題を研究協議するなど、学校保健の推進的役割をもつ「学校保健委員会」の設置状況は？

平成15年度学校保健委員会の設置状況

平成16年4月

	小学校			中学校			高等学校			中等教育学校			特殊教育諸学校		
	学校数	設置数	設置率	学校数	設置数	設置率	学校数	設置数	設置率	学校数	設置数	設置率	学校数	設置数	設置率
1 北海道	1,439	494	34.3	720	307	42.6	322	225	69.9				56	55	98.2
2 青森県	425	252	59.3	185	99	53.5	86	61	70.9				19	4	21.1
3 岩手県	461	440	95.4	206	196	95.1	82	77	93.9				17	16	94.1
4 宮城県	340	331	97.4	161	155	96.3	96	93	96.9				19	18	94.7
5 秋田県	308	263	85.4	135	121	89.6	72	58	80.6				16	14	87.5
6 山形県	339	335	98.8	131	128	97.7	54	54	100.0				10	10	100.0
7 福島県	540	523	96.9	241	230	95.4	98	86	87.8				20	18	90.0
8 茨城県	582	574	98.6	234	228	97.4	111	55	49.5				20	19	95.0
9 栃木県	430	410	95.3	172	159	92.4	80	63	78.8				14	14	100.0
10 群馬県	351	351	100.0	178	178	100.0	74	74	100.0				14	14	100.0
11 埼玉県	741	734	99.1	376	371	98.7	158	104	65.8				32	30	93.8
12 千葉県	739	650	88.0	329	291	88.4	166	25	15.1				31	28	90.3
13 東京都	1,346	939	69.8	653	396	60.6	300	92	30.7				62	40	64.5
14 神奈川県	410	305	74.4	221	183	82.8	164	83	50.6				24	20	83.3
15 新潟県	607	409	67.4	244	148	60.7	110	9	8.2	2	1	50.0	24	12	50.0
16 富山県	219	219	100.0	85	82	96.5	49	42	85.7				12	12	100.0
17 石川県	260	189	72.7	107	76	71.0	57	54	94.7				12	9	75.0
18 福井県	216	170	78.7	80	66	82.5	38	20	52.6				11	11	100.0
19 山梨県	207	135	65.2	95	50	52.6	31	18	58.1				11	7	63.6
20 長野県	403	402	99.8	194	194	100.0	90	68	75.6				18	18	100.0
21 岐阜県	396	396	100.0	196	196	100.0	75	75	100.0				13	13	100.0
22 静岡県	544	538	98.9	271	266	98.2	106	106	100.0	3	3	100.0	24	24	100.0
23 愛知県	728	725	99.6	303	301	99.3	190	184	96.8				24	23	95.8
24 三重県	426	308	72.3	174	123	70.7	74	71	95.9				14	14	100.0
25 滋賀県	232	231	99.6	98	98	100.0	53	53	100.0				12	12	100.0
26 京都府	258	214	82.9	99	62	62.6	62	52	83.9				13	8	61.5
27 大阪府	726	367	50.6	331	146	44.1	199	115	57.8				29	27	93.1
28 兵庫県	666	537	80.6	277	237	85.6	179	172	96.1	1	1	100.0	34	34	100.0
29 奈良県	235	185	78.7	108	60	55.6	45	45	100.0				9	9	100.0
30 和歌山県	313	231	73.8	141	101	71.6	54	41	75.9				11	11	100.0
31 鳥取県	160	158	98.8	60	58	96.7	29	24	82.8				9	9	100.0
32 島根県	285	199	69.8	109	65	59.6	45	38	84.4				12	12	100.0
33 岡山県	443	345	77.9	179	118	65.9	108	86	79.6				12	11	91.7
34 広島県	465	258	55.5	191	106	55.5	97	31	32.0				16	4	25.0
35 山口県	341	327	95.9	181	165	91.2	71	70	98.6				14	14	100.0
36 徳島県	233	195	83.7	93	71	76.3	54	35	64.8				9	8	88.9
37 香川県	206	189	91.7	81	66	81.5	35	35	100.0				8	8	100.0
38 愛媛県	366	321	87.7	152	142	93.4	73	73	100.0				13	13	100.0
39 高知県	274	63	23.0	122	30	24.6	41	32	78.0				13	7	53.8
40 福岡県	494	337	68.2	212	115	54.2	110	48	43.6				21	19	90.5
41 佐賀県	191	181	94.8	92	91	98.9	38	38	100.0				7	7	100.0
42 長崎県	409	324	79.2	196	125	63.8	75	73	97.3				17	17	100.0
43 熊本県	484	367	75.8	193	143	74.1	72	67	93.1				16	16	100.0
44 大分県	361	4	1.1	143	3	2.1	54	54	100.0				15	13	86.7
45 宮崎県	280	276	98.6	142	140	98.6	49	29	59.2	1	1	100.0	13	13	100.0
46 鹿児島県	596	584	98.0	273	260	95.2	85	85	100.0				15	15	100.0
47 沖縄県	280	261	93.2	162	147	90.7	70	70	100.0				16	16	100.0
(1) 札幌市	209	197	94.3	97	76	78.4	12	12	100.0				3	2	66.7
(2) 仙台市	122	122	100.0	63	63	100.0	6	6	100.0				1	1	100.0
(3) さいたま市	86	86	100.0	48	48	100.0	4	4	100.0				1	1	100.0
(4) 千葉市	120	119	99.2	56	56	100.0	2	2	100.0				2	2	100.0
(5) 川崎市	114	114	100.0	51	51	100.0	10	0	0.0				3	2	66.7
(6) 横浜市	353	353	100.0	145	142	97.9	12	3	25.0				11	5	45.5
(7) 名古屋市	260	260	100.0	109	109	100.0	17	17	100.0				4	4	100.0
(8) 京都市	179	179	100.0	77	77	100.0	12	9	75.0				6	6	100.0
(9) 大阪市	299	63	21.1	129	5	3.9	25	6	24.0				10	3	30.0
(10) 神戸市	170	136	80.0	85	48	56.5	12	5	41.7				6	3	50.0
(11) 広島市	137	127	92.7	61	50	82.0	9	4	44.4				1	1	100.0
(12) 北九州市	135	86	63.7	63	41	65.1	1	1	100.0				8	7	87.5
(13) 福岡市	144	137	95.1	68	42	61.8	4	0	0.0				7	2	28.6
合計	23,083	18,225	79.0	10,378	7,901	76.1	4,507	3,232	71.7	7	6	85.7	914	785	85.9

環 境 を 知 る !!

詳解「学校環境衛生の基準」

詳解「学校環境衛生の基準」

著者 日本学校保健会
発行者 日本学校保健会

▲詳解「学校環境衛生の基準」表紙

「学校環境衛生基準」の改訂に伴い点検重視の、具体的な検査15項目をとり上げ、年間計画表を例示。項目ごとのチェックリスト方式を採用し、測定箇所も図示している。更に持ち運びに便利なように**バインダー方式**を採用。

編 集：日本学校薬剤師会

発 行：財団法人 日本学校保健会

販売価格：7,000円(消費税・送料込み)

A4版 バインダー方式 約530P 2色刷り

購入申込先 (財)日本学校保健会 担当 原田

お問い合わせ TEL. 03-3501-3785

申込方法 FAX. 03-3592-3898

インターネット注文

<http://www.hokenkai.or.jp/>

(5冊以上購入の方は割引についてお問い合わせ下さい。)

たくさんの人々に伝えたい 愛と音楽をたずさえて

神戸に住むダウン症や自閉症など知的能力にハンディを持つ25人がメンバーの「楽団あぶあぶあ」とミュージカルチーム「LOVE」がこの9月、東京で初めての公演を行います。

1982年に8人で結成された「楽団あぶあぶあ」の練習は、ひとつひとつ音を拾っていく気が遠くなるようなのですが、彼らは人を信頼し、学ぶ喜びを知っているためか、一挙一動を全身で吸い取るように集中します。それでも一小節に一週間、一曲を合奏できるようになるまでに約一年かかります。

ミュージカルチーム「LOVE」のストーリーや音楽も長い年月をかけ、プレーヤー同士の話し合いの中からつくれられたオリジナルです。話し言葉を持た

ない仲間も、皆で身振りや仕草、眼差しなどから感じ合い、お互いを補い合って作ってきたステージです。

これまで神戸、大阪、ニューヨーク、バルセロナなどで、180回以上の公演を行い、8万人を超える人々から、惜しみない拍手と賞賛を受け、音楽を楽しみ、出会いをわかちあってきました。

ぜひ足をお運びいただき、ご一緒に楽しいひと時が作り出せれば幸いです。



「楽団あぶあぶあ」& ミュージカルチーム「LOVE」東京初公演

日 時：2004年 9月25日(土) 13:00～15:45(12:15開場)

場 所：すみだトリフォニーホール (JR総武線「錦糸町駅」下車徒歩3分)

主 催：性と健康を考える女性専門家の会&(株)朝日エル

特別協賛：株式会社ロッテ 入場料：3,000円(全席自由、事務局及びチケットぴあにて販売中)

チケットお申し込み・お問い合わせ先：性と健康を考える女性専門家の会事務局 TEL. 03-5565-3588

みんなが噛んでるガムだから、いちばん歯にいいガムでありたい。
ロッテ キシリトールガム+2



(財)日本学校保健会推薦
(社)日本学校歯科医会推薦

厚生労働省許可 保健機能食品(特定保健用食品)

FDI(国際歯科連盟)賛助商品。ガムをかんだ後は紙に包んでください。

むし歯のない社会へ。 お 口 の 恋 人

LOTTE

たばこの規制に関する枠組み条約について

政府は、本年6月8日の閣議において、WHO(世界保健機構)の「たばこの規制に関する枠組み条約」(昨年5月のWHO総会で全会一致で採択されたもの)について、受諾書を国連事務総長に寄託することを決定し、同日、我が国は、世界では19番目の批准国となった。

この条約の締結にあたっては、既に5月19日に国会の承認を受けている。8月10日現在の署名国が168カ国で、内25カ国が批准している。

この種の国際条約の効力は、40カ国が批准してから90日目に発効することになっている。

このため、政府は、これまでも青少年の健全育成の観点等から、未成年者の喫煙防止のための諸施策をはじめ、たばこの規制に関する諸施策を講じてきているが、本条約の発効を見込み、国内調整の仕組みとして、関係省庁連絡会議を6月15日に設置(事務局は財務省の協力を得て、厚生労働省が実施)している。

今後、どのように対応していくのか、どのような施策が必要なのかなど、関係省庁は、相互に連絡を密にし、関係団体共々、一体的に取り組むことになっている。

ここでは、条約の概要(条約の目的、個別事項)と個別事項における国内の対応措置について、紹介しておきたい。

1. 条約の目的

たばこが健康、社会、環境及び経済に及ぼす影響から、現在及び将来の世代を保護する。

2. 個別事項

1) 普及・啓発、教育、禁煙指導

喫煙の健康に与える悪影響についての普及・啓発、教育、禁煙指導の実施。

「ホームページの情報、保健所・市町村における禁煙教育・指導等」

2) 受動喫煙等

屋内の職場、公共交通機関、屋内の公共の場所等におけるたばこ煙からの保護についての措置

をとる。

「健康増進法で既に規定」

3) 健康警告表示

健康警告表示(権限のある国家当局により承認)のサイズ(理想的には50%以上、最低30%)、ローテーションを義務付け。

「たばこ事業法で規定。昨年表示の見直しを実施。」

4) 広 告

憲法に抵触しない範囲内でたばこに関する広告に関して全面禁止または適切な制限措置。

「たばこ事業法で規定。今年広告規制の強化を実施。」

5) 自動販売機

未成年者がアクセスできないよう、自動販売機について適切な措置をとる。

「成年識別機能付きたばこ自動販売機が、今後、順次導入される予定。」

6) 含有物規制

締約国会議は、たばこの含有物及び排出物の規制に関しガイドラインを提示し、各国は効果的な規制措置を講じる。

「締約国会議による指針策定を踏まえ、今後対応。」

3. 全体に係る事項

たばこ対策に関する計画の策定

「各国において、たばこ対策として実施及び予定しているものを取りまとめ、締約国会議に報告。」

以上が、条約が求めている事項と、これに対する現段階における政府の取り組み・対応状況であるが、日本学校保健会としても、平成15年度から禁煙教育のためのパンフレットやポスター作成を行い、全国の小・中・高校に配布しているが、今後とも、たばこが健康にとって有害であることを継続的に理解させていくこととしている。

「たばこ規制枠組条約の発効記念イベント in 東京」(仮題)の開催について

条約発効を見込み、我が国の課題と体制づくりについて論議を深め、国内の世論形成と連携を趣旨として、標記のイベントが、下記のような日程で予定されています。厚生労働省等をはじめ関係省庁や関係団体からの取り組み状況報告、パネルディスカッション等の催しが行われます。定員440名、入場無料。多数のご参加をお待ちしています。

日 時：2004年11月27日(土) 午後0時30分～17時30分

場 所：日本医師会館 大講堂(東京都文京区本駒込2-28-16)

地下鉄南北線「駒込駅」又はJR山手線「駒込駅」下車徒歩10分

主 催：特定非営利活動法人「子どもに無煙環境を」推進協議会、「日本禁煙推進医師歯科医師連盟」他、多数の団体。

お問い合わせ先：(財)結核予防会(東京都千代田区三崎町1-3-12) Tel. 03-3292-9288 Fax. 03-3292-9208

メール fukyu@japahq.org

(参加者は、事前の申込みが必要です。)

●エアーモニタ「換気予報」の斡旋販売のご案内



◆斡旋販売価格 9,500円(税別送料込)
希望小売価格 14,800円

シックハウス対策の決め手は換気です。
「換気予報」は、空気のよごれを感知して、
換気のタイミングをお知らせするので、
児童・生徒への換気教育に最適です。



学校での換気の習慣づけに「換気予報」

ご購入の
お申込方法は

①学校名②住所③電話番号④申込者名⑤「換気予報」申込台数をご記入の上、
下記あてにFAX送信または郵送してください。

財団法人 日本学校保健会 事務局
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー6階 FAX.03-3592-3898

お問い合わせは

商品やご注文に関するお問い合わせは、当会・事務局までお電話でどうぞ。 TEL.03-3501-2000

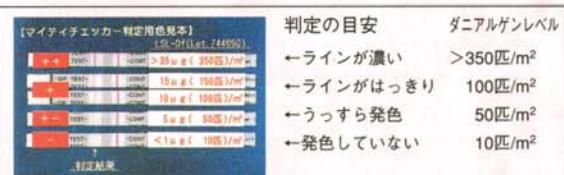
屋内塵性ダニ簡易検査キット 学校用マイティチェックー 鮫旋販売のご案内

学校環境衛生の基準が平成16年2月に改訂され、ダニまたはダニアレルゲンの測定を義務づけられました。

学校環境衛生の基準による酵素免疫測定法に準拠した簡易試験紙で、抽出液に浸けるだけの簡易操作で、
短時間にダニアレルゲンを検出できます。

検査は簡単

- 1 家庭用掃除機でゴミを取る
 - 2 1分間挟む
 - 3 マイティチェックーを3秒間抽出液に浸ける
 - 4 10分間待ってマイティチェックーの発色程度を見る
- 専門知識がなくてもOKです



◆斡旋価格 (5回分、ビニール袋入り) 5,000円(税別・送料込み)
希望小売価格 6,500円

財団法人日本学校保健会事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17
虎ノ門2丁目タワー6階

FAX: 03-3592-3898

TEL: 03-3501-2000

商品の発送、代金の請求はリオンテック株式会社 (TEL042-523-6901) が代行します。

ご購入の申し込み方法

- ①学校名②住所③電話番号④申込者名⑤「マイティチェックー」の申込み個数を右記宛
FAX又は郵送してください。

事務局便り

この夏は、例年になく暑い日が続き、各地で熱中症の報道がありました。前号の会報でも、熱中症予防に関する調査結果と予防のためのアドバイスをお知らせしたところですが、皆さんの夏は如何だったでしょうか。

さて、ここで前号の広告記事中、「ポカリスエット」の広告内容とプレゼントの応募締め切りが、当方

の手違いで誤っておりました。大塚製薬株式会社並びに「健康と料理社」様をはじめ読者の方々に、この紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

会報をよりよいものにしたいと考えております。皆様からの忌憚のない御意見や御提案をお待ちしております。

ホルムアルデヒドテストトリップの斡旋販売のご案内

財団法人日本学校保健会では、ホルムアルデヒドテストトリップ（関東化学製品）を各都道府県・市町村教育委員会・学校に対し、本年4月1日から斡旋販売することになりましたのでご案内いたします。

本製品につきましては、本会設置の「シックハウス実態調査検討委員会」で測定実験を行い、その結果日本学校薬剤師会でも学校において有効活用できるものとの認定をいただいております。（下記「試験紙によるホルムアルデヒドの簡易検査法の活用について」参照）

販売する製品・価格は次のとおりです。（税別・送料込）

包装「35枚入り」1箱 4,500円（小売希望価格5,000円）

包装「10枚入り」1箱 1,800円（小売希望価格2,000円）

「35枚入り」



ご購入の お申込方法 は	①教育委員会等名②住所③電話番号④申込者名⑤申込箱数をご記入の上、 下記あてにFAX送信または郵送してください。 財団法人 日本学校保健会 事務局 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17虎ノ門2丁目タワー6階 FAX 03-3592-3898
お問い合わせは	商品やご注文に関するお問い合わせは、当会・事務局までお電話でどうぞ。 TEL03-3501-2000

試験紙によるホルムアルデヒドの簡易検査法の活用について

シックハウス実態調査検討委員会／日本学校薬剤師会

1. 主 旨

ホルムアルデヒドに反応する試験紙を用いた簡便な方法が開発されました。この検査は、児童生徒等の安全に配慮したシックハウス対策を適切かつ効果的に進めるため、教室のみならず、学校内のすべての施設を対象とすることができます。本法は精密な測定を行うまでの予備検査に位置づけられるものであり、まずは「安全な教室」と「対策を講じるべき教室」とを明確に区別することを目的としています。学校現場におけるホルムアルデヒド対策を効果的に進めるために、有効に活用することができます。

なお、本検査法により発生源対策などに活用するため、本検討委員会では今夏再度測定実験を行い、その結果を皆様方にご報告することにいたしております。

2. 使用方法

①試験紙の設置

教室の床から1.2m～1.5mの高さに、洗濯バサミなどを工夫して試験紙（1枚）を使用してください。あらかじめ測定する教室は、30分以上換気して5時間以上閉鎖した状態で行い、8時間以上検査することが必要です。

②判 定

試験紙の色調を確認し、変化がない場合には『陰性』、黄色く発色している場合には『陽性』と判断、当該教室からのホルムアルデヒドの検出を示します。

この結果をふまえ、陽性の場合にはできるだけすみやかに「学校環境衛生の基準」に基づく検査を行ってください。

テストトリップが黄色

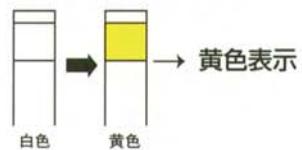
く発色すれば、ホルム

アルデヒドを検出

設置した雰囲気中に、ホル

ムアルデヒドが存在すれば

試験紙が黄色く発色します。



シックハウスの
原因物質を
簡単チェック！

室内に置くだけ！

ホルムアルデヒドを
検出すると黄色に変色！

ホルムアルデヒドテストトリップ

Cica 関東化学株式会社

試薬事業本部 試薬部 TEL:(03)3663-7631

インターネットでも
商品の情報をご覧いただけます。
<http://www.kanto.co.jp/siyaku>

平成16年度「学校保健用品・図書等推薦」一覧表 (追加分)

推薦期間 平成17年3月31日まで

NO.	品 目	摘 要	会 社 名
46	ウィスパー (多い日用)	生理用ナプキン	プロクター・アンド・ギャンブル・ファー・イースト・インク (P&G)
47	いのちの水 ～シーン別水分補給～	水分補給について体液のメカニズム、熱中症のメカニズムなど各シーンごとに解説したビデオ	大塚製薬株式会社
48	室内空気汚染検知管式測定器	教室等の空気環境検査でのホルムアルデヒト、トルエン、バラジクロベンゼン、二酸化窒素、塩素の測定	株式会社ガステック

虎ノ門 (74)

二宮金次郎の父に学ぶ

“芝刈り縄ない 草履つくり 親の手助け 弟を世話し 兄弟仲良く 孝行つくす 手本は二宮金次郎”この歌でもご存じの二宮金次郎。学校や幼稚園の校庭または公園に「負薪読書像」がある。昭和3年～15年頃父母や卒業生などによって学校に寄贈され、だんだんと全国に広まっていたそうです。現代の子ども達はこの像を見て何を思うのであろうか。農業の発展につくした偉人二宮金次郎については小学校3・4年生で、また総合学習などでも学ぶ。

ところで現代社会で問われている家庭教育のあり方や親の子どもへの虐待が増えつつある社会状況、2001年には、児童相談所における児童虐待件数が

23,274件あったそうです。このような時期、金次郎の父親から学ぶものがある。

金次郎の父親は大変学問好き、そんな父親の姿から学ぶことの大切さを教えられ、金次郎は読んだ書物から知識を得、それに自分の体験を重ね合わせ自分の解釈で行動した。このことはまさしく21世紀の教育「自ら学び、自ら考え、生きる力の育成」である。また、困った人のためにお米やお金をわけ与えた父親の姿を見ることにより、金次郎も村人のために、そして家族のために尽くし、平和な社会をつくる努力をされたのだと思う。このような生き立ちが、当時の生活環境も含めて偉業を成し得たのだろう。近年においても、見習いたい家庭教育である。

(編集委員 野地 紗江)



「足と地球の健康を考えよう」

足に合わない小さなクツや、先の細いクツを履いていると、足の指が曲がったり、爪が変形して痛んだりします。底の薄いクツを履いて硬いところで運動すると、カカトやヒザが痛くなったり、足の骨が折れたりすることもあります。通気性の悪いクツを履いていると、足が蒸れて、疲労が増したり皮膚炎になったりします。元気に運動して健康になるには、シューズはとても大切です。

履けなくなつたたくさんのクツがゴミとして捨て

シューズのリサイクル

られ、地球が病氣になっています。元気な地球に戻すためには、ゴミを減らすこと、もう一度使える物をリサイクルすることが大切です。

足の健康を守ってくれた「JESシューズ」をリサイクルして、地球の健康も守りましょう。

日本教育シューズ協議会

岡山市 西川原 1 丁目 11 番 6-1 号
〒703-8258 TEL. (086) 272-5463



カワイ肝油ドロップ

発育期に欠かせないビタミンが凝縮されたカワイ肝油ドロップは、「わんぱく」を応援します。



カワイ肝油ドロップ C (医薬品)



レモン風味



カワイ肝油ドロップ M (医薬品)



メロン風味



製造 河合製薬株式会社 販売 河合薬業株式会社

東京都中野区中野6-3-5
TEL: 03-3365-1156(代)

保健室の常備品

(財)日本学校保健会推薦

NEW



すばやく補給 水分とイオン。

新発売の地球ボトル290ml 1ケース
抽選で10校様へ無料進呈します
学校名、住所、TEL、ご担当者名、担当職、
学校でのポカリスエットの活用方法を
ご記入の上、下記「健康と料理社ポカリ
スエットプレゼント係」宛てにハガキで
ご応募ください。

※当選発表は発送をもって代えさせて
いただきます。
応募〆切: 平成16年10月末日

応募に関するお問い合わせは
お問い合わせは: 健康と料理社 〒102-0075 東京都千代田区三番町24林三番町ビル4F TEL03-5275-6838/担当 河西

しっかり届く。
きれいに磨ける。



くらしに夢をひろげる

先端丸形カット



「先端丸形カット」の毛先で、
生え替わり期の高さが不揃いの歯も
きれいに磨けます。



ライオン
こども
ハブラシ
(6才~12才用)



推薦
日本学校保健会

Dr.プランプ 児童・生徒用体脂肪率算定ソフト

ID No. 0000017 氏名 島津花子 年齢 14歳 性別 ♂ 男 性 別 体長 158.5 cm 体重 52.8 kg 測定値 552 口 算 定 記録

算定結果
体脂肪率 23.6%
標準的な体脂肪率です
肥満度 3.9% BMI値 21.0 ローレル指数 132.6 印刷

仰臥位手足法

正常範囲 注意範囲 危険範囲

男女別のバーセントイル線がプロットされます
体脂肪率がバーセントイル線が表示され、

監修: 日本大学医学部小児科学教室 お問い合わせ・カタログ請求は
協力: 小児副法研究会

Dr.プランプは成長とともに変化する児童・生徒(9~17歳)の体脂肪率を算定・評価する小児専用ソフトです。(インピーダンス測定器セット販売あり)

「Dr.プランプ」専用ホームページ <http://www.dr-plump.info/>